

1. 科目名 (単位数)	国際関係論 (国際法を含む) (2 単位)	3. 科目番号	GELA3318
2. 授業担当教員	加藤 由香子		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「国際社会と日本」を履修しておくことが望ましい。		
7. 講義概要	本科目は、国際政治や国際経済に関する諸問題について理解を深めることを目的とする。また、人権、国家主権や領土の問題など、国際法の考え方についても取り上げる。		
8. 学習目標	1) 国際関係論における基本的な考え方、重要な概念について理解し説明できる。 2) 国際社会における政治・経済動向について関心をもち、諸問題について多面的に検討し思考することができるようになる。 3) 国際社会における行動主体とその関係について理解できるようになる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	1) 各回の事前学習と事後学習を参照し、予習と復習をしておく。 事前学習・事後学習の確認として、適宜口頭発表や小テストを実施する。 2) 日頃から国際情勢に関するニュースに触れ、自身が興味をもった内容について口頭発表をしながら、クラスメンバーで意見交換をしていく。 3) レポート課題 1 : 国際社会で起こっている問題を一つ選び、まず、その問題の背景について調べ、次に国際関係理論から分析し、最後に自分の意見、考えを第9回に発表する。発表後に得たフィードバックを反映させた上で、同内容についてレポートを作成し提出する。 4) レポート課題 2 : テキスト第12章の市民社会アクターについてテキストには載っていない他の事例について調べ、その可能性と限界について多角的に分析する。第13回に構想を発表し、そこで得たフィードバックを反映させた上で、同内容についてレポートを作成し提出する。 詳細については、講義内で指示する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 佐渡友哲・信夫隆司・柑本 英雄・山本 直 編『国際関係論 第4版 (Next 教科書シリーズ)』弘文堂、2024。 【参考書】 講義内で適宜紹介する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1) 国際関係論における基本的な考え方、重要な概念について理解し説明できる。 2) 国際社会における政治・経済動向について関心をもち、諸問題について多面的に検討し思考することができるようになる。 3) 国際社会における行動主体とその関係について理解できるようになる。 ○評定の方法 成績評価の規準 1)~3) についての達成度を以下の方法により評価する。 ・各受講生の参加意欲・態度 (課題の提出状況も含む) について総合的に評価する。(30%) ・各受講生の授業での発言・共同作業 (ディスカッションなど) の実態等から総合的に評価する。(30%) ・各受講生の知識理解や思考の深まりについて、試験・レポートから評価する。(40%) なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	各回の事前学習と事後学習を必ず達成したうえで、授業に臨むこと。 テキストは毎時の授業に持参すること。 国際協力や支援など国際的な活動に興味を持っていることが望ましい。 講義内容を積極的に聴き、必要に応じて自身が振り返る際に理解できる言葉・表現でメモすること。 自身の意見や考えについて積極的に発信していくこと。		
13. オフィスアワー	初回の講義内で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション: 授業の概要、授業の進め方 国際関係論はどのような学問なのか	事前学習	シラバスを確認し、扱うテーマ内容について把握しておく。テキスト pp.4~pp.18 を読んでおく。
		事後学習	講義内容を振り返り、授業の進め方について整理しておく。p.18 の問題を考えておく。
第2回	20 世紀の国際関係をどう理解するか	事前学習	pp.19~pp.34 を読んでおく。
		事後学習	p.34 の問題を考えておく。
第3回	21 世紀の世界をどう読むのか	事前学習	pp.37~pp.51 を読んでおく。
		事後学習	p.52 の問題を考えておく。
第4回	グローバリゼーションの時代をどう読むのか	事前学習	pp.53~pp.68 を読んでおく。
		事後学習	p.68 の問題を考えておく。
第5回	現代の安全保障をどう読むのか	事前学習	pp.69~pp.84 を読んでおく。
		事後学習	p.84 の問題を考えておく。
第6回	東アジアの政治と国際関係をどう読むのか	事前学習	pp.85~pp.100 を読んでおく。
		事後学習	p.100 の問題を考えておく。
第7回	日本の安全保障と国際貢献をどう読むのか	事前学習	pp.101~pp.116 を読んでおく。
		事後学習	p.116 の問題を考えておく。

第 8 回	国際関係理論とは何か	事前学習	pp.120～pp.133 を読んでおく。
		事後学習	レポート課題 1 の構想発表について考えておく。
第 9 回	レポート課題 1 の構想発表 国際協調はどのように行われるのか	事前学習	pp.135～pp.148 を読んでおく。 構想発表のためのプレゼンテーション資料を作成する。
		事後学習	p.150 の問題を考えておく。レポート課題 1 を完成させる。
第 10 回	欧州の統合とはどのような現象か	事前学習	pp.151～pp.166 を読んでおく。
		事後学習	p.166 の問題を考えておく。
第 11 回	非国家アクターの台頭をどう見るのか	事前学習	pp.170～pp.184 を読んでおく。
		事後学習	p.184 の問題を考えておく。
第 12 回	市民社会は世界を動かすことができるのか	事前学習	pp.185～pp.200 を読んでおく。
		事後学習	レポート課題 2 の構想発表について考えておく。
第 13 回	レポート課題 2 の構想発表 紛争をどう解決するのか	事前学習	pp.201～pp.214 を読んでおく。 構想発表のためのプレゼンテーション資料を作成する。
		事後学習	p.216 の問題を考えておく。 レポート課題 2 を完成させる。
第 14 回	世界の貧困と格差をどう解決するのか	事前学習	pp.217～pp.231 を読んでおく。
		事後学習	p.232 の問題を考えておく。
第 15 回	総括：既習内容の振り返り、重要ポイントのまとめ	事前学習	これまでの講義、課題を振り返り疑問点を明確にしておく。
		事後学習	ノートを整理し期末試験に備える。
期末試験			